

CSRハイライト 将来を担う子供たちに「生きる力」を学ぶ場を提供する

社会貢献 「一万人の工場見学」

2004年2月からスタートした「一万人の工場見学」はカシオの工場見学を通じて、子供たちに『家族の絆』『科学の力』『夢の実現』への気づきが【生きる力】へ結びつくよう、また併せて【思いやりの気持ちの大切さ】を学んでいただく場を提供することを目的に実施しています。



お父さん、お母さんの働く姿を目にする
ことで、家族の絆に気づき、また、学校・
家庭・地域社会・会社が繋がりをもち支
えあっていることを学び、普段見ること
のない最先端の製品づくりを見たり、実際
に製品の簡単な組立てを体験することで製
品の構造と機能を理解する。また、商品
の歴史をクローズアップする中から、身の
回りのさまざまな商品に科学技術発展の
歴史があることを学び、科学の素晴らし
さに目覚める。そして、従業員の熱き語
らいを通じて、諦めないで一生懸命努力
することにより、必ず夢が実現できるこ
とに気づく。さらにカシオの環境活動に
触れることで、地球環境を大切にす
る心を育む。カシオはこうした気づきの
機会を提供することで、将来の社会を
担う人材の育成に寄与したいと考えてい
ます。

活動が2年目に入った2005年度には
「一万人の工場見学」の新しい活動の
方向性として、行政が主催する小中
学生を対象としたキャリア教育推進事
業と学校教育における総合学習の授
業を絡めた工場見学プログラムを
実施いたしました。本プログラムでは
「カシオに提案!こんな電卓いかが
ですか」と題し、カシオ計算機の主

力商品である電卓について子供たちが
いろいろな視点から考えを練り、新し
い電卓のモデルを考え、企画書を作成
し、実際に商品企画を担当している
従業員へ商品企画プレゼンテーショ
ンを行いました。新しい商品を考え
出す努力と初対面の方に自分の考
えや商品の特長を理解してもらう
大変さを学び、「働く」とはどんな
ことなのかを考え、仕事を通じて
自己実現する喜びへの気づきへと
繋げ、従来の「一万人の工場見
学」のコンセプトをさらに深く掘
り下げた内容を実施することができ
ました。

このように2005年度は企業・行政・
学校が三位一体となった教育の場
を提供することができ、また「一
万人の工場見学」を通じて、行政
や地域社会からカシオに期待す
る声が高まっていることを感じて
います。



2005年度の甲府カシオでは6校を受け
入れ教職員を含めて計278名の見
学者をお迎えました。また、2005
年12月に東京ビッグサイトにて開
催された「エコプロダクツ2005」
においても、カシオ計算機ブース
内にて「一万人の工場見学」の
紹介と小学生を対象とした「電
卓の組立て体験」を実施し、3日
間で計124名の子供たちが参加
し活動を広げることができました。



甲府カシオ

2006年度は首都圏の学校の参加希
望もあり、さらに活動を拡大して
いきます。

現在、「一万人の工場見学」活動の
カシオグループ内への展開を図る
べく、積極的な取り組みを進めて
います。地域への生涯学習の一環
として、カシオグループ内での説
明会を適宜開催し、生涯学習へ
の全従業員の意識づけに取り組み
始めています。

この中で、複数の企業との共同活
動を通じて、地域の青少年の生涯
学習を押し進める計画も検討して
います。



グループ内説明会

少子高齢化、核家族化、情報化等々、
青少年を取り巻く環境は大きく変
化しています。このような環境下
に在って、青少年の育成への取
組みは今後、益々必要となって
いきます。カシオは一企業市民
として、青少年の育成を社会貢
献の大きな柱の一つとして位置
づけ、将来に渡り取り組んでい
きます。

【生きる力】は、社会の現状を正しく
知る“認識”、知り得た事柄を真
摯に実行する“誠実さ”、そし
て、実行したことに対する“責
任”の三つの心がその礎となる
ものと捉えています。首都圏の
教育機関からのご参加の希望も
複数いただいている中で、本活
動が青少年に【生きる力】を提
供し、将来の社会の発展・維持
に貢献できることを願い、さら
なる拡大を図っていきます。

Kids ISO活動について

「一万人の工場見学」においては、ごみのリサイクルの実態や省エネを考慮した食堂を見てもらうこと等によって、環境保全に取り組む事業所の実際の姿を体感してもらい、電気、水、ゴミ等の子供たちが普段、家庭や学校で行っている環境保全活動と比較しながら、地球環境の保全へと考えを広げていく活動を行っています。

また、カシオは「Kids ISO14000プログラム」の活動にも共感し、2004年度より「一万人の工場見学」を利用して「Kids ISO14000プログラム」を各小学校へ紹介するなど、インストラクターの資格を取得した従業員がISOの理念に基づき、子供たちに対する環境活動の指導にも積極的に取り組んでいます。

「Kids ISO14000プログラム」はNPO/NGO国際芸術技術協力機構(ArTech)が開発し、国内ばかりでなく、国連機関やISOを通して国際的に展開している環境教育プログラムです。子供一人ひとりの「気づき」を出発点として、環境マネジメント法を体得し、ネットワークで皆の手をつなぎ、一人ひとりが「生きてゆく力」を身につけることにより、未来に希望と確信を持って育っていくことを

目指しています。

「Kids ISO14000プログラム」は地球環境保護のために持続可能で有効な手段であり、カシオとしても、世の中に広めていく価値有る活動と理解し、積極的な対応を図っています。さらに、環境保護に留まらず、

人間形成にも有効な活動であり、カシオの推進する生涯教育の一環として活用を図っていきます。また、今後、カシオグループとして、インストラクター有資格者を複数設置し、幅広い地域で「Kids ISO14000プログラム」の展開を図っていきます。

おと ぐろ ざくら 乙黒桜

甲府カシオの事業所内には、現在約30本の乙黒桜が植えられています。毎年、この桜が美しく開花し、人々の目を楽しませています。

「乙黒桜」は、当拠点のある中央市を流れる笛吹川のほとりの「乙黒の土手」と呼ばれる河川敷に咲いていた、花と葉と一緒に出る山桜の一種で、白く大きな花を咲かせるのが特徴です。地域住民に親しまれていましたが、昭和7年に土手の改修工事のため「乙黒桜」は伐採されて無くなってしまいました。地域では、皆に親しまれてきたこの桜を復活させようと、現在、繁殖・保存に力を入れており、数本残っている「乙黒桜」の子孫の桜をもとに、繁殖・保存活動を推進しています。

甲府カシオも「乙黒桜」の保存へ協力を申し出て、2004年春にこの幻の桜の保存協力と工場の緑化推進を目的に、この桜の木15本を敷地内に植栽しました。さらに2005年春には、15本を追加植栽し、この桜は、カシオと地域をつなぐ象徴的な存在となっています。今後も地域社会に調和した緑化活動を通じて、さらなる地域貢献を実現していきたいと思っています。



乙黒桜

Key Man

人物紹介

気づきと感動を通じて、
生きる力を得る体験学習の場を
提供します。



甲府カシオ
総務部

ふるや ともあき
古屋 智章

昨今、CSR経営の重要性が増す中、数年前に職場内にて企業の社会貢献について考える機会がありました。

「工場の機能を生かし、未来を担う子供たちに貢献ができないだろうか」「地域との調和を大切にしたい」。そんな気持ちから私たちのこの“一万人の工場見学プロジェクト”は発足しました。

工場を訪れる子供たちに学校とは違う職場体験を通じて、「家族の絆」「科学の素晴らしさ」「夢を実現する力」「思いやりの気持ち」「地球環境保全の大切さ」に気づき、感動し、将来まで記憶に残る見学となるような、こだわりを持った仕組みがこの工場見学に詰まっています。

また、この工場見学は多くの協力者のおかげで行われています。忙しい業務の中でも、スタッフ全員が駆けつけ、支えてくれる。私たちスタッフの絆もこの工場見学を通じて子供たちと接し、その学びの姿勢から得た感動と充実感があるからこそ生まれるのです。

今、活動も3年目に入り、さまざまなお客様からお問い合わせをいただくようになり、小さなプロジェクトから発足した活動もカシオを代表する内容へと拡大をしています。

今後も、私たちは活動を積み重ね、社会への貢献を果たしていきたいと考えています。